

会員選任制度検討分科会（第5回）議事要旨（案）

1. 日 時：令和8年4月27日（月） 10：30～12：00
2. 場 所：オンライン開催
3. 出席者：日比谷 潤子委員長、宇山 智彦委員、山田 八千子委員、狩野 光伸委員、山口 香委員、北川 尚美委員

4. 議事次第

- （1）前回議事要旨（案）について
- （2）分科会の検討事項について

5. 配布資料

- ・資料1 前回議事要旨（案）
- ・資料2 論点整理
- ・参考資料1 第196回総会資料（会員選任制度検討分科会）

6. 議事概要

（外国籍の方に係る第27期における取組）

- ・外国籍の方の参入が、会員よりも連携会員が先ということからすると、連携会員の要件を踏まえたうえで会員の要件が決まってくることになるのではないかと。そのため、慎重な議論が必要である。
- ・経済安全保障についての確認は、外国籍の方のみならず、日本国籍の方も含めて必要ではないかと。
- ・今後の居住条件についてどのように扱うかは検討が必要である。
- ・外国人アドバイザー制度は国際アドバイザリーボードとは異なり、様々な国の方から、その時々で多岐にわたる内容のアドバイスをいただくことを想定している。その時の会長が話を聞きやすい人、という観点で選ぶことも考えられるのではないかと。

（外国籍会員選考）

- ・影響や気を付けるべき観点については、他の公的組織等の例を参考に調査が必要ではないかと。
- ・チェックリスト等できちんと懸念等を確認していることを明示すべきである。

（選定助言委員）

- ・委員の選定について、性別や年齢等のダイバーシティを観点に入れるべきではないかと。
- ・日本学術会議の性格を理解している方が含まれているべきではないかと。

（2029年10月からの会員選考）

- ・会員の再任制限について、同程度の候補者がいた場合に新しく会員になる人を優

先する等の条件を付すことも考えられるのではないか。

以 上